

# ナガバイヌツゲ

か めい  
科名 モチノキ

べつ めい  
別名

がく めい  
学名 *Ilex maximowicziana*



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分 布 かごしま あまみ おおしまいなん おきなわ  
鹿児島 (奄美大島以南)、沖縄

は かたち  
葉 の 形 だえんけい ひしんけい  
楕円形、さかさ被針形

は ふち  
葉 の 縁 きよし  
鋸歯

は さき  
葉 の 先 えいけい  
鋭形

は しゅるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉 の 付方 互生

は きふ くさびがた  
葉 の 基部 くさび形

み しゅるい かくか  
実 の 種類 核果

はな がくいろ しろいろ  
花・萼色 白色

せつ せい  
説 明  
山地の林内に生育し、高さ3-10mの常緑の小高木です。若枝には目立つ溝の様なものがあります。葉は互生し楕円形などで、長さ3-8cm、幅1.5-3cmです。葉の先はやや尖り、その先端はわずかにへこんでいます。両面無毛、葉の縁に浅い鋸歯がまばらにあります。白い花が2個から3個集まって葉腋から咲きます。実は球形で径約7mm、黒く熟します。雌雄異株。